

業績ハイライト（連結）

PERFORMANCE HIGHLIGHT

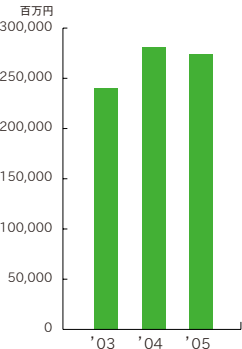
戦略事業における高付加価値化、経営効率化の推進などにより
営業利益、経常利益、中間純利益、いずれも中間期としては
過去最高額を更新いたしました。

業績ハイライト（中間期）

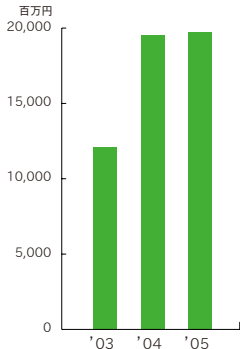
科 目	2003年度	2004年度	2005年度
売上高（百万円）	240,578	281,496	274,230
営業利益（百万円）	12,102	19,530	19,719
経常利益（百万円）	8,429	17,048	17,781
中間純利益（百万円）	5,027	9,045	10,226
1株当たり中間純利益（円）	18.64	34.03	38.49

*2004年度より「固定資産の減損に係る会計基準」及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」を適用しております。

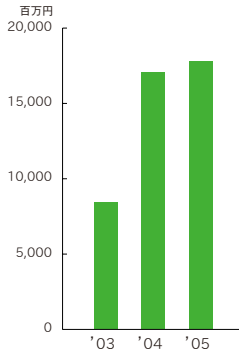
売上高



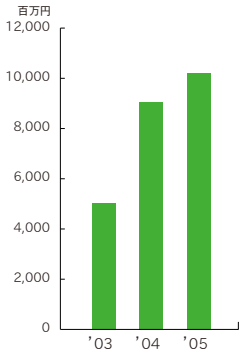
営業利益



経常利益



中間純利益

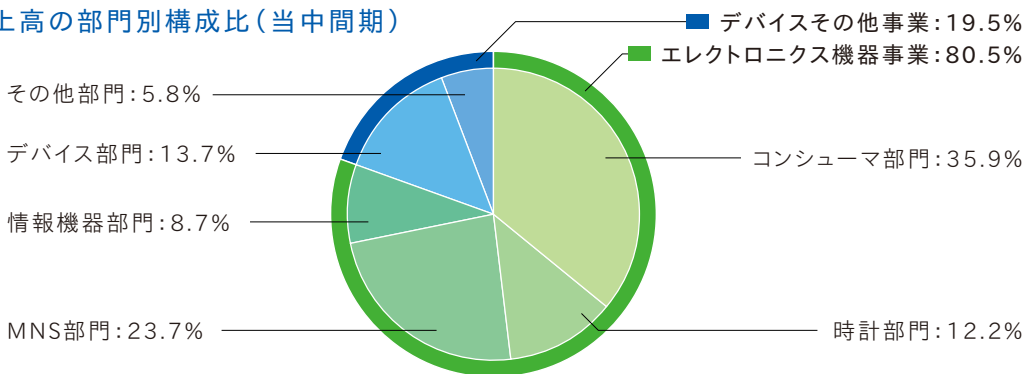


部門別の概況（連結）

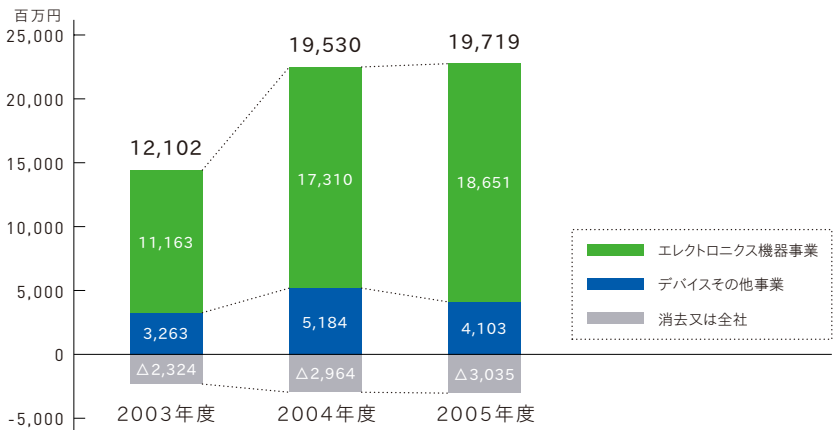
SEGMENT INFORMATION

各部門別の概況を、ご報告します。

売上高の部門別構成比（当中間期）



営業利益の概況（中間期）



部門別の概況（連結）

SEGMENT INFORMATION

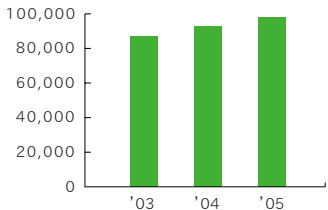
エレクトロニクス機器事業

コンシューマ部門

カードジャンル創造、大画面液晶搭載、長電池寿命実現など常にデジタルカメラ市場を牽引するブランドとして高い支持を得ている「EXILIM」に高画質ムービーを搭載し、前期に引き続き国内外共に好調に推移いたしました。また、国内で圧倒的シェアを誇る電子辞書も高付加価値モデル（発音機能付など）の販売が好調で、韓国を始めとする海外展開と合わせ、更に拡大するなど、期初予想を上回る販売実績をあげました。

売上高
98,543百万円

中間期 売上高の推移（単位：百万円）

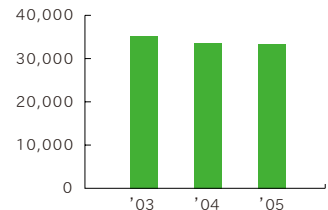


時計部門

電波機能とソーラー駆動を搭載した商品が着実に市場を拡げ昨年に引き続き好調に推移しました。一般モデルの比率を下げ、高付加価値ジャンルのラインアップ拡大による利益率重視とした結果、売上は横ばいで推移いたしましたが、利益面では大きく改善いたしました。

売上高
33,494百万円

中間期 売上高の推移（単位：百万円）

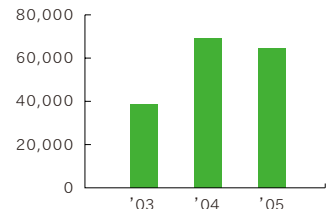


MNS部門

320万画素CCDカメラと2.6インチワイドQVGA液晶搭載のWIN対応端末「W31CA」と、折りたたみ式で耐水・耐衝撃性能を備えたタフネスケータイ「G'zOne TYPE-R」が好調に推移し、利益面で大きく伸びいたしました。

売上高
64,956百万円

中間期 売上高の推移（単位：百万円）

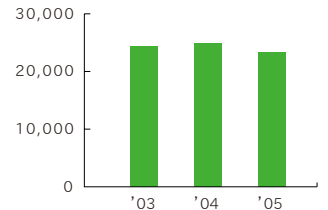


情報機器部門

最適なハードウェアとアプリケーションを組み合わせた様々なソリューション展開を図りましたが、IT関連製品の価格下落の影響を受け、減収となりました。

売上高
23,758百万円

中間期 売上高の推移（単位：百万円）

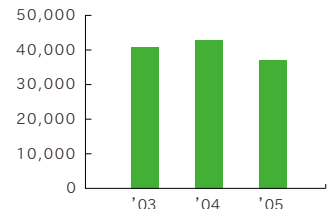


デバイスその他事業

TFT事業の単価下落の影響から減収となりましたが、ほぼ当初計画通りに推移しており、デジタルカメラ向けの需要拡大や携帯電話向けの新規顧客獲得など明るさが見え始めております。

デバイス部門

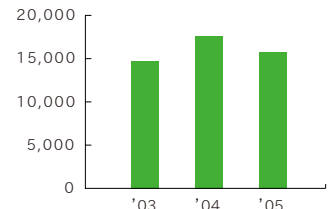
中間期 売上高の推移（単位：百万円）



売上高
37,601百万円

その他部門

中間期 売上高の推移（単位：百万円）



売上高
15,878百万円